

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育実習(幼)	実習・選択	4	田中 麻紀子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

幼稚園の現場で実際に幼稚園教諭の仕事や子どもへのかかわりを見ることで幼稚園教諭の仕事について理解し、幼稚園教諭の役割を理解する。また子どもとのかかわりの中から、年齢に応じた保育を考え、指導案を立案できるようになる。

1. 幼稚園教育実習を体験することにより、幼児の活動の様子や各年齢の発達段階を理解する。
2. 実習園における保育者の役割を知り、幼稚園教諭の職務について学ぶ。
3. 保育場面での観察や実践を行い、保育者として必要なスキルを身につけ実行できる。

【授業の概要】

幼稚園教育の現場で実習することを想定し、①幼稚園教諭の仕事内容とその意味、②子どもたちの姿を理解するための観察方法、③子どもたちとのかかわりの方法を学ぶ。その学びをもとに、実習日誌に的確に記述する方法とその意味を理解する。さらに指導計画の実際について事例から学び、実習を想定して自ら指導計画を作成する。以上のことを通して幼稚園教諭の仕事、幼稚園教諭の役割を理解する。

【全体の授業計画・内容】

・実習(2回生 4週間)

- 1～2週目: 観察実習—1日の保育の流れや日常的な子どもの生活状況を把握し、子ども理解を深める。
- 3～4週目: 責任実習—クラスの子どもの発達に即した教材研究をすると共に、保育指導案を立案し、設定保育を行う。

【学習のあり方】

予習のあり方: 子どもの年齢による発達段階を理解し、教材研究をすると共に保育指導案を作成する。

学習のあり方: 幼稚園における保育実践により、保育技術を学ぶ。

復習のあり方: 実習終了後の事後指導における反省および評価に基づき自己の課題を明確にする。

【成績評価】

幼稚園による評価(70%)と実習日誌(30%)を総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

提出物や教育実習(幼)の成績評価をもとに個別面談を実施し、幼稚園教諭を志すものとしての自身の課題に向き合う。

【テキスト】

大元千種(監修)『書き方・あそび・保育のコツがわかる 実習の日誌と指導案サポートブック』ナツメ社

【参考文献】

文部科学省「幼稚園教育要領」フレーベル館

【実務経験の有無】

幼稚園教諭としての現場経験を生かし、有意義な実習を行えるような授業を展開していく。